

〈神戸オックスフォード日本学プログラム〉始動

人文学研究科教授 長野順子 (KOJSP アドバイザリーボード代表)

Tel: 078-803-5508 jnagano@kobe-u.ac.jp

神戸大学はオックスフォード大学と 2011 年に学術交流協定を締結し、それと同時に神戸大学文学部とオックスフォード大学東洋学部との間で「神戸オックスフォード日本学プログラム (略称 KOJSP = Kobe-Oxford Japanese Studies Program)」が開始されることになった。

これにもとづき 2012 年 10 月より文学部では、オックスフォード大学の学部 2 年生 12 名を受け入れている。学舎全棟のリニューアルを終えたばかりで明るく快適になった文学部キャンパスに、日本人学生や他の留学生に交じって若いオックスフォード学生の姿が目立つようになった。彼らは東洋学部日本学専攻の 2 年生全員で、1 年間 (正確には 10 カ月) を神戸大学文学部で学習し、帰国後の 3 年次と 4 年次にはまたイギリスでの大学生活に戻り、卒業論文を準備することになる。

イギリス最古の伝統ある大学として学問の各分野で世界をリードするオックスフォード大学では、大学教育はカレッジと学部・学科とが並行する形で構成され、学生はそれぞれ由緒と特色を持つカレッジのいずれかに所属し、寄宿舎生活を送りながら各カレッジの教官による個別指導 (チュートリアル) を受け、必要に応じて学部での講義に出席する。オックスフォード大学の日本学は東洋学部 (Faculty of Oriental Studies) の東アジア部門に属し、日産・現代日本研究所とも提携、日本語を含め日本の歴史・文化・社会の各領域にわたる質の高い研究活動を推進している。

KOJSP 第 1 期生は全員が寮で生活しながら神戸大学に通い、毎日午前中 2 コマは必修の日本語演習、午後は文学部の専門科目を自由選択で受講している。文学部では副研究科長 (教育研究担当) と国際交流委員のもとにカリキュラム委員とコーディネーター委員による「神戸オックスフォード日本学プログラム・アドバイザリーボード」で、このプログラムの推進に当たっている。プログラム全般の運営に際し、初年度につきものの諸問題に可能なかぎり対応して、円滑な実施に向けた調整に努めた。学習・生活面での個別サポートは文学部の各指導教員と学生チューターが担当し、水曜午後の学生ラウンジでのインターナショナルアワーでは留学生と日本人学生とがコーヒーを片手に語りあう交流の輪が広がってきた。奈良への見学旅行、書初めへの挑戦、日本語での発表会、兵庫県内でのホームステイや広島での平和フォーラム等の体験、また大学のオーケストラ部や空手部、写真部に入部したり、神戸市のラグビー部や町の書道教室に通ったり、休暇には日本各地やアジア諸国を旅行したりと、学生達は活動的な毎日を送っている。春学期には各自が日本に関するさまざまな問題からテーマを選び研究してまとめる課題演習が始まり、7 月末の修了式でその成果を日本語で発表、8 月には充実した学習・生活を終えて帰国する。本プログラムは 5 年間続く予定で、この 10 月には第 2 期生 12 名が渡日する。

なお本プログラムと同時に文学部とハートフォード・カレッジとの間に交換留学生制度も発足し、すでに第 2 期交換留学生各 1 名が決定している。さらに今夏からはハートフォード・カレッジでの夏期英語講習が文学部により計画され、20 名近い日本人学生がオックスフォードで学ぶ機会をもつ。

2012 年秋の KOJSP キックオフ・シンポジウムではオックスフォード大学教員と本学文学部若手教員による「教育のグローバル化」をめぐる議論が反響を呼び、今後も研究者交流やシンポジウム等の予定

があり、神戸大学文学部は世界に開かれた教育・研究活動をさらに展開していく。

第1期生の修了式は以下のように行われる予定。

日時：2013年7月29日（月）13：30～

場所：瀧川記念学術交流会館大会議室

13：30 修了発表会

16：30 修了式